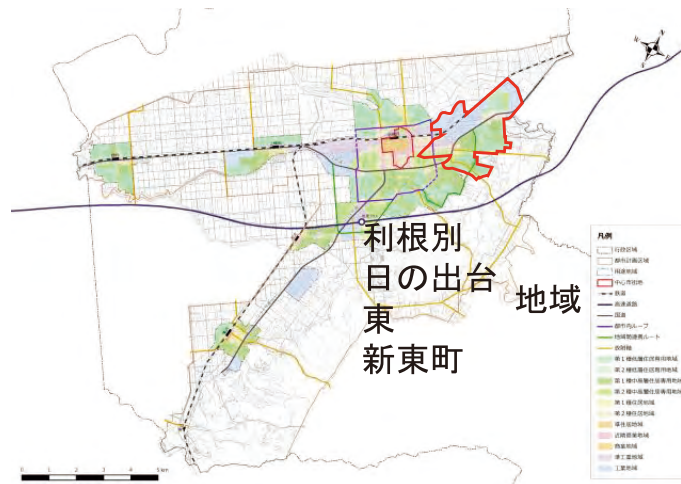


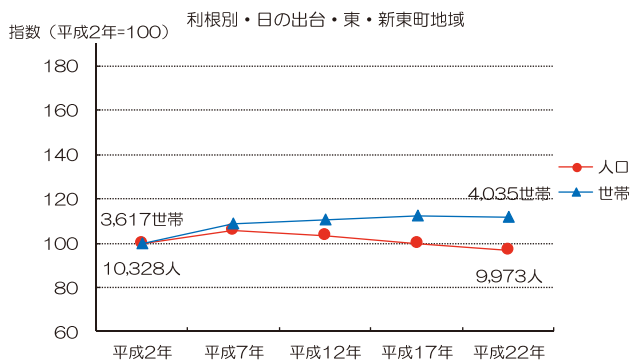
## 2 地域まちづくり構想

### ⑤ 利根別・日の出・東・新東町地域

#### 地域の位置



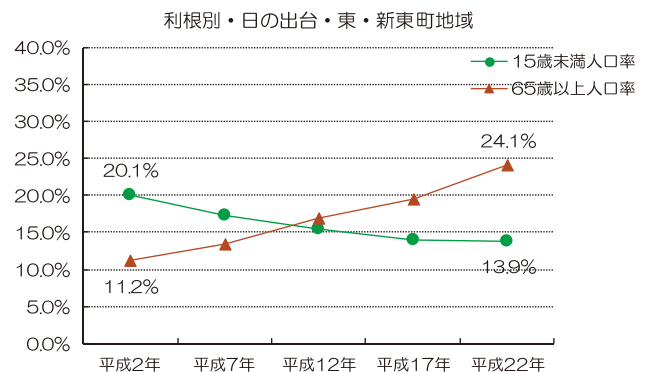
#### 人口・世帯数の推移



人口は、平成7年以降減少しています。

世帯数は、微増してきましたが、平成17年以降は横ばいから微減となっています。

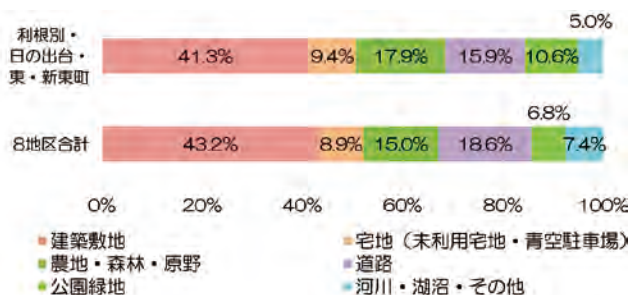
#### 若年人口・老年人口の推移



若年人口の割合は、減少から横ばいに推移しつつあります。割合は他地区と比較して高くなっています。

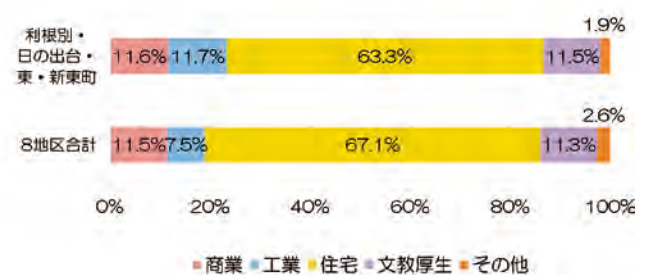
老年人口の割合は、一定の割合で増加しています。

#### 土地利用状況



公園緑地が占める割合がやや多くなっています。

#### 建物用途状況



東町工業団地、岡山工業団地があるため、工業系建築物がやや多くなっています。



## 2 地域まちづくり構想

### ⑤ 利根別・日の出台・東・新東町地域

#### 地域まちづくりの目標像

##### やさしさと地域の和を育む 東部地域

国道12号を挟んで、住宅地と工業地があり、河川やかんがい溝の水辺、森林や農地に囲まれた地域であることから、緑を生かした街並みと安全に安心して歩くことのできる歩道整備、除排雪の問題を活発なコミュニティ活動を通して改善し、暮らしやすい地域をつくることを目標とします。

#### 地域まちづくりの方針

##### 都市構造・都市空間

- ・若年人口が比較的多いことがこの地区の特徴ですが、高齢化は確実に進んでおり、健康・福祉の増進や空き地の活用など、今後に向けたコミュニティの取組やまちづくりを促進します。

##### 土地利用

- ・用途地域の縁辺部で低層住居系用途地域では、住宅地の開発が進まず、農地のまま利用されているところがあります。今後も農地として利用されることが見込まれる地区については、用途地域の指定の見直し、農地としての保全を検討します。
- ・東17丁目通の整備などに関連して、競馬場跡地の活用について検討します。

##### 地域交通

- ・バスの利便性の向上と持続的運行が可能となるよう、バス事業者と協議しながらバスの運行時間や便数の見直しなどについて取り組みます。

##### 公園・緑地

- ・身近な公園は、老朽化や草刈りなどの維持管理の負担が問題となっており、公園の遊具や施設など機能の見直しや集約化により、個性や魅力のある公園の整備や維持管理の負担の軽減、公園を利用した住環境の向上などを図ります。

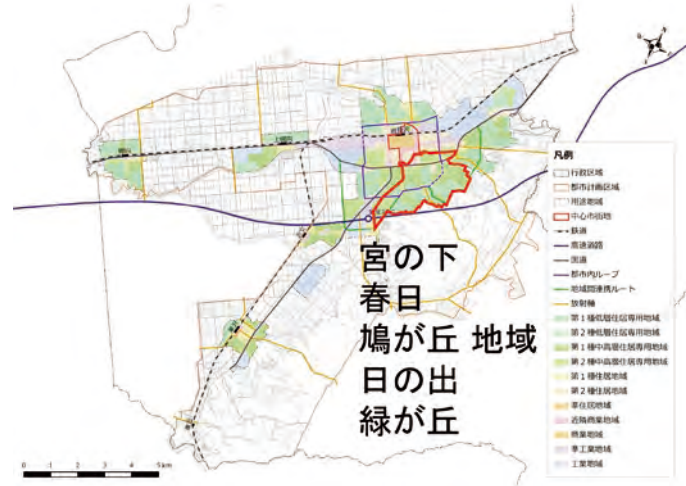
##### 景観の形成

- ・地区内には、幾春別川、利根別川、ポントネ川などの河川が流れ、河畔の自然環境が緑の骨格を成しています。このような緑や自然環境に気軽に親しむ環境づくりに取り組みます。

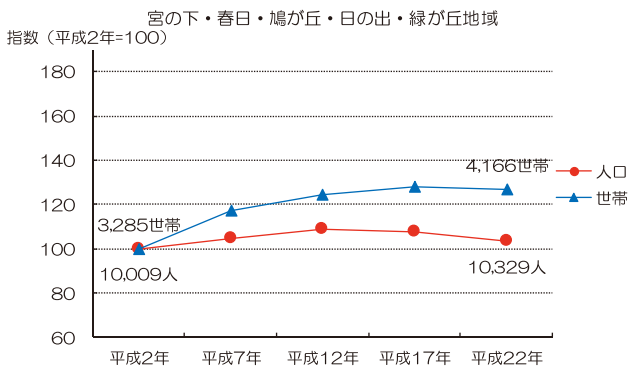


## 2 地域まちづくり構想 ⑥ 宮の下・春日・鳩が丘・日の出・緑が丘地域

### 地域の位置



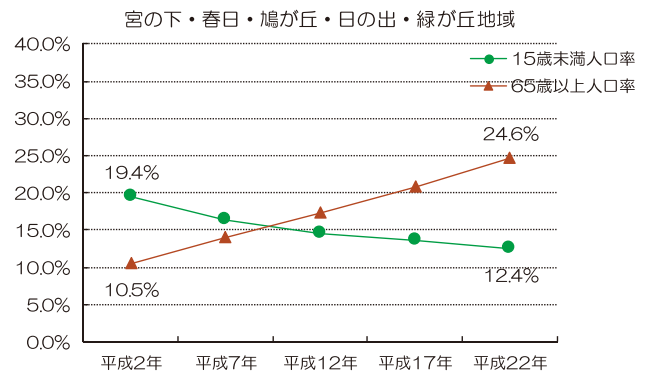
### 人口・世帯数の推移



人口は、平成12年まで増加した後、減少に転じています。

世帯数は、平成17年まで増加していましたが、その後微減しています。

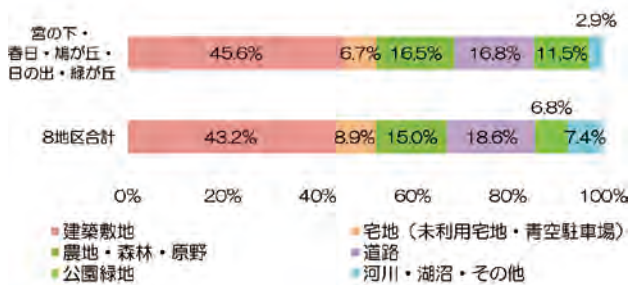
### 若年人口・老年人口の推移



若年人口の割合は、減少から横ばいに推移しつつあります。

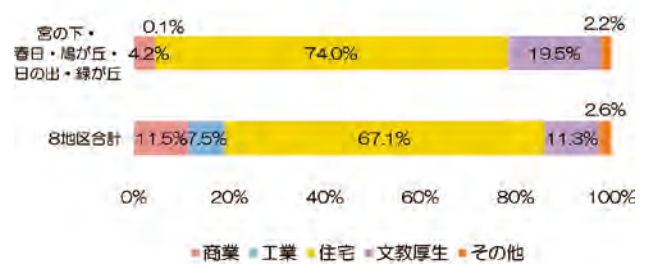
老年人口の割合は、一定の割合で増加しています。

### 土地利用状況



東山公園、あやめ公園、東山緑地など公園緑地の割合が多い土地利用となっています。

### 建物用途状況



工業系建築物はほとんどなく、大学や高校などの教育施設やスポーツセンターなど文教施設が占める割合が高いことが特徴です。

## 2 地域まちづくり構想 ⑥ 宮の下・春日・鳩が丘・日の出・緑が丘地域

### 地域まちづくりの目標像

#### 子どもから高齢者まで共に地域で育む 緑と文教のまち

文教施設や公共公益施設が多く、公園や散策路などの豊かな緑地が広がる恵まれた立地条件に加え、地域福祉にも積極的に取り組んできた実績がある地域であり、子どもから高齢者まで地域コミュニティの力で育むことができるまちを目標とします。

### 地域まちづくりの方針

#### 都市構造・都市空間

- ・芸術・スポーツに特化した北海道教育大学岩見沢校があることから、コミュニティ活動や地域のまちづくりにおいて、大学の特性を生かし、学生と連携した取組を進めます。

#### 地域交通

- ・大学や高校のほか、市役所や図書館などの公共公益施設があることから、バスの利用状況や、他地区を運行するバス路線との調整などを行いながら、バス路線網や運行便数の見直しにより大学、公共公益施設への公共交通によるアクセス性の向上を図ります。

#### 道路

- ・駒澤大学付属岩見沢高等学校跡地の土地利用を増進するとともに、市街地内での道路ネットワークの整備や災害時の避難や緊急輸送などの交通を確保するため、同跡地内に市道東19号線を整備します。
- ・道央自動車道・岩見沢サービスエリアとその周辺の地域について、広域交通のアクセス向上や高速道路利用者への情報発信、都市間高速バスの利便性の向上などを目的とした利活用について検討します。

#### 公園・緑地

- ・岩見沢神社の境内林は、北海道自然環境等保全条例に基づく環境緑地保護地区に指定されており、隣接する東山公園と一体となって市街地の緑の景観を形成しています。市街地内にある身近でかつ貴重な緑地であることから、今後も保全を図ります。

#### 防災性の向上

- ・駒澤大学付属岩見沢高等学校跡地については、洪水による浸水のおそれがないまとまった未利用地であるため、市道東19号線を整備するとともに、災害時の炊き出しにも対応できる学校給食共同調理所の移転改築を進めるなど、災害時の対応を考慮した土地利用を図ります。



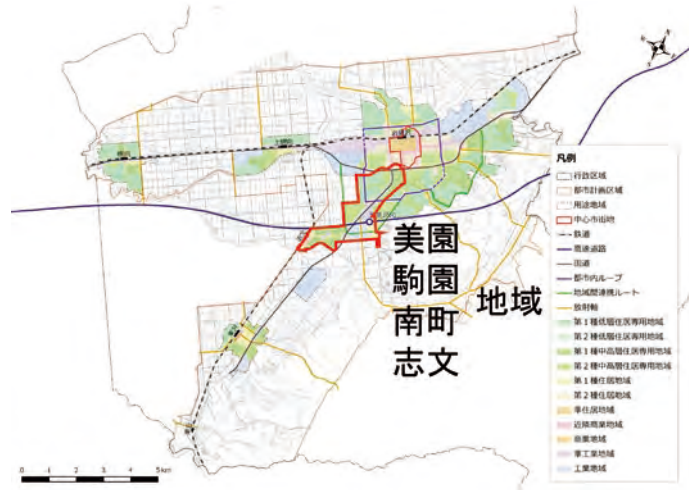
地域まちづくりの方針図



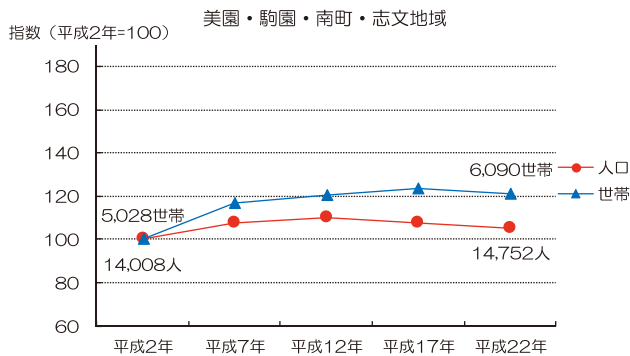
## 2 地域まちづくり構想

### ⑦ 美園・駒園・南町・志文地域

#### 地域の位置

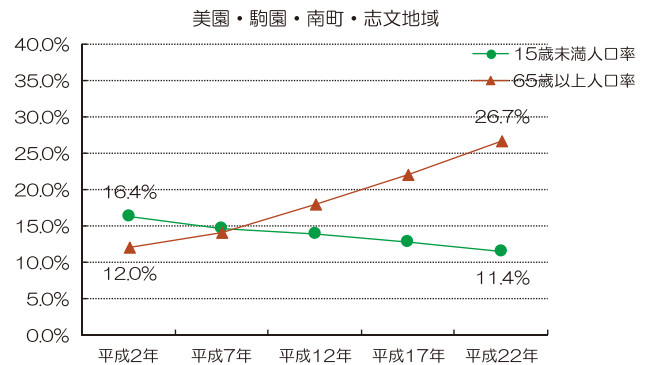


#### 人口・世帯数の推移



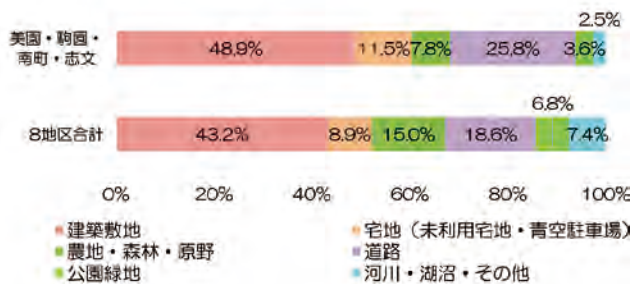
人口は、平成12年以降微減しています。  
世帯数は、平成17年以降減少しています。

#### 若年人口・老年人口の推移



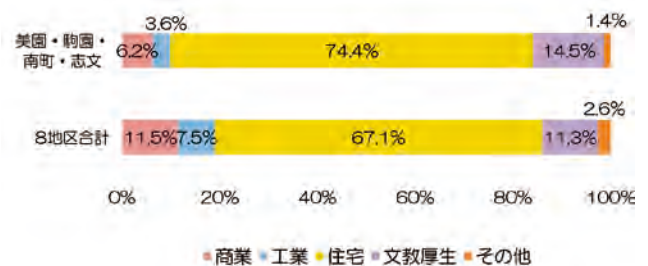
若年人口の割合は、一定の割合で減少しています。  
老年人口の割合は、一定の割合で増加しており、他地区と比較して高い状況にあります。

#### 土地利用状況



未利用地が若干多くなっています。道路が占める割合が多いのは住宅地の区画道路が多いためであると考えられます。

#### 建物用途状況



住宅が多くを占めています。  
病院や福祉施設などの厚生施設の割合がやや多くなっています。



## 2 地域まちづくり構想

### ⑦ 美園・駒園・南町・志文地域

#### 地域まちづくりの目標像

##### 自然と育む健康と福祉のまち

幌向川や利根別川が南北に流れ、志文学術保護地区やいわみざわ公園など緑が広がる自然豊かな地域であり、また医療や福祉施設の集積が進んでいる地域であることから、地域の高齢化が一層進むことを考えつつ、優れた自然の中で生まれながら共生していくまちづくりを目標とします。

#### 地域まちづくりの方針

##### 都市構造・都市空間

- ・今住んでいる人がこれからも住み続けたいと思える、住みやすい地域の実現に取り組みます。
- ・市立病院や福祉施設などが立地しており、車いす利用者などが多いことから、市街地環境や施設などのバリアフリー化の推進やユニバーサルデザインの導入などに配慮します。

##### 土地利用

- ・岩見沢市の基幹産業である農業の振興を図るとともに、緑の景観を形成する要素として市街地周辺の農地の保全を図ります。
- ・JR 志文駅周辺では、建物の用途など市街地の土地利用が変化していることから、実情に合わせて用途地域を見直します。

##### 公園・緑地

- ・利根別原生林の整備に取り組み、丘陵地の森林、自然環境に親しむ環境を整えることで、利活用を通じた緑や自然への理解と保全を図ります。
- ・身近な公園は、老朽化や草刈りなどの維持管理の負担が問題となっており、公園の遊具や施設など機能の見直しや集約化により、子どもから高齢者まで憩うことができ、個性や魅力のある公園の整備や、維持管理の負担の軽減、公園を利用した住環境の向上などを図ります。

##### 防災性の向上

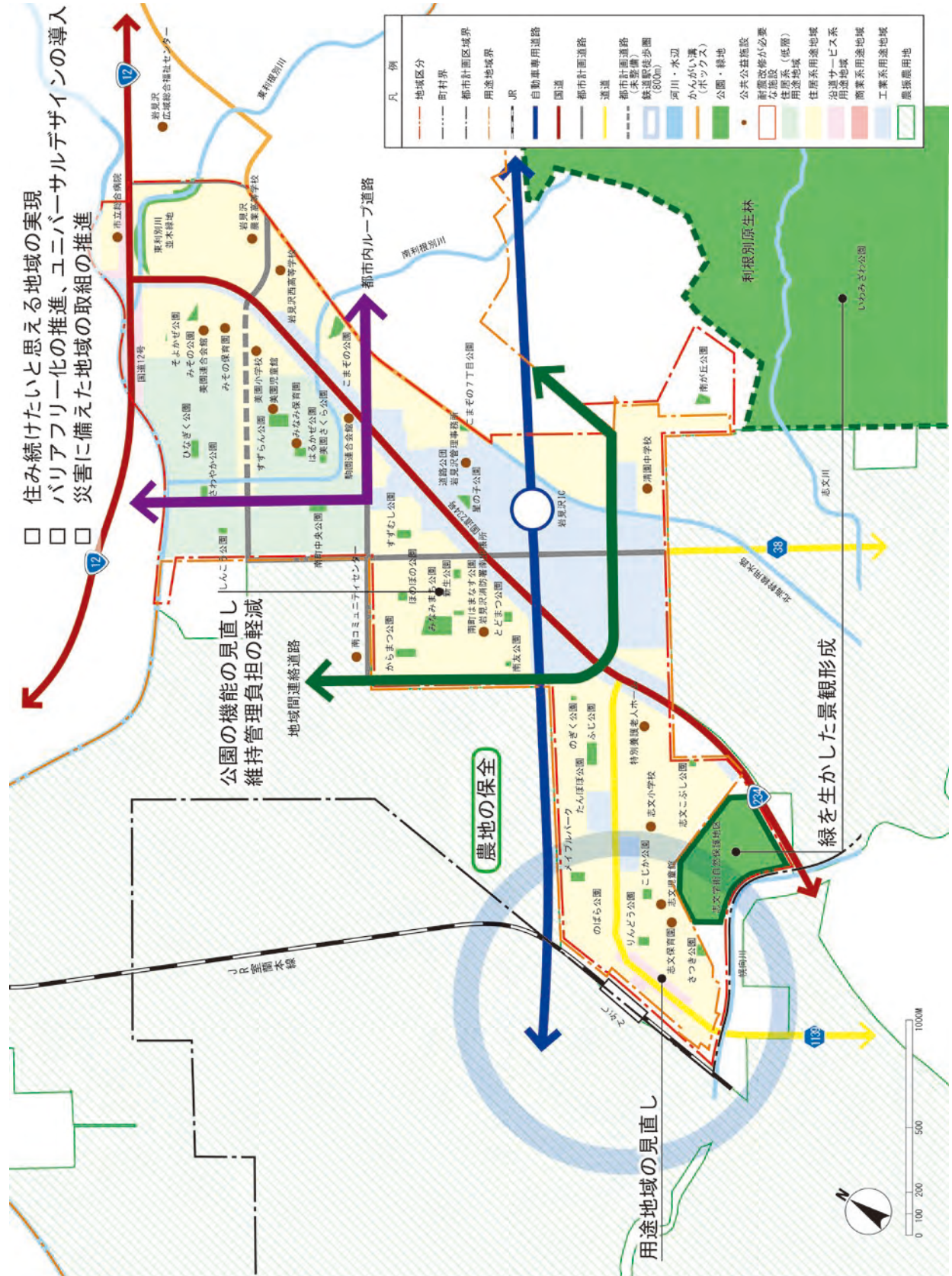
- ・豪雨などによる浸水害を教訓として、平常時から災害に備えた地域の取組を進めます。

##### 景観の形成

- ・利根別原生林などの丘陵地の森林や志文町の学術自然保護地区周辺の樹林地、市街地周辺の田園地域など、緑が豊富な地区であり、緑を生かした景観の形成に取り組みます。



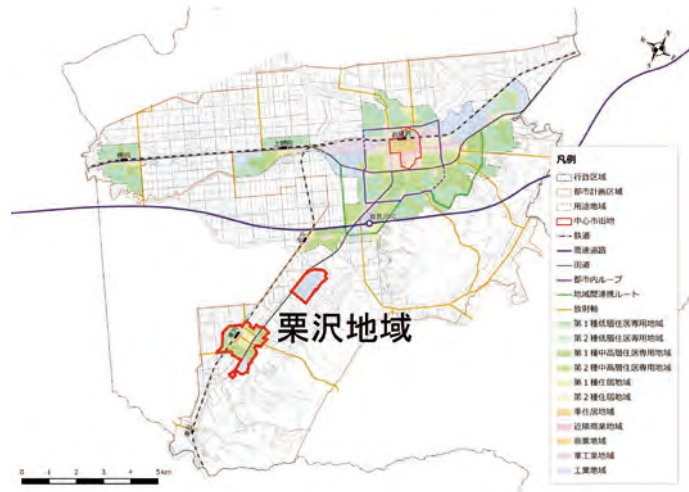
地域まちづくりの方針図



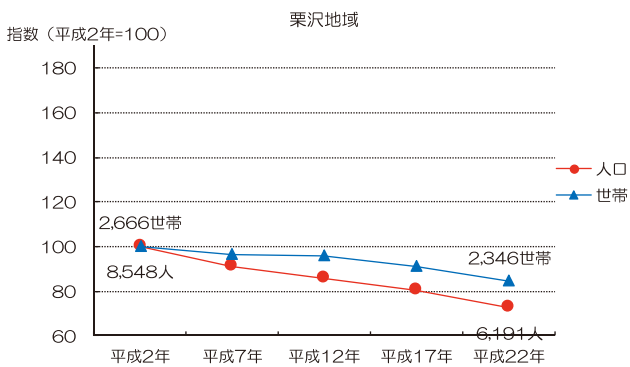
## 2 地域まちづくり構想

### ⑧ 栗沢地域

#### 地域の位置

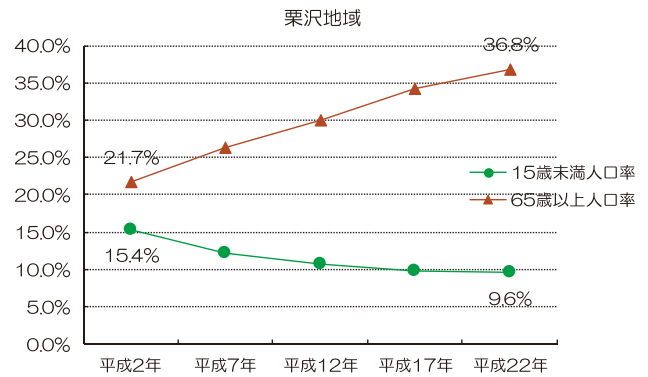


#### 人口・世帯数の推移



人口、世帯数ともに減少傾向が継続しています。

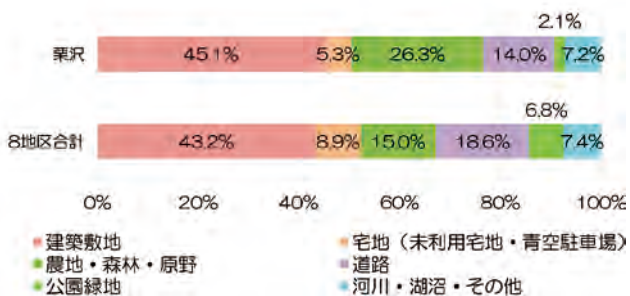
#### 若年人口・老年人口の推移



若年人口の割合は、減少からほぼ横ばいに推移しつつあります。

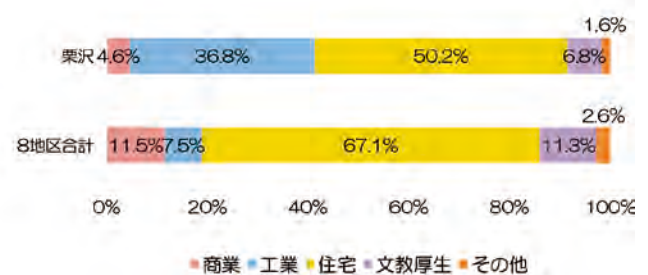
老年人口の割合は、一定の割合で増加しており、高齢化率は市街地内では特に高い状況にあります。

#### 土地利用状況



農地・森林・原野が多く、公園緑地が少ない土地利用となっています。

#### 建物用途状況



栗沢工業団地に立地する工場、倉庫など、工業系建築物が占める割合が多くなっています。

## 2 地域まちづくり構想

## ⑧ 栗沢地域

### 地域まちづくりの目標像

#### 田園に囲まれた 人にやさしい福祉のまち くりさわ

緑豊かな田園風景に囲まれたまちであり、道立福祉村が立地するなど人々の福祉に対する意識も高い地域であることから、美しい田園風景とあたたかな人の心をつなぎ、ひとにやさしく住みよいまちづくりを目標とします。

### 地域まちづくりの方針

#### 都市構造・都市空間

・市街地では最も人口の減少と高齢化が進んでいる地区であり、コミュニティの維持や住環境・市街地環境の確保、日常生活拠点としての都市機能の確保などに取り組みます。

#### 土地利用

・市街地周辺に広がる農地を保全することにより、岩見沢市の基幹産業である農業の振興を図ります。  
・工業団地は、国道 234 号に面し、道央自動車道岩見沢インターチェンジにも近く、札幌圏や新千歳空港、苫小牧港などへのアクセス性が高いことから、工業系土地利用を増進します。

#### 公園・緑地

・栗沢神社の境内林は、北海道自然環境等保全条例に基づく環境緑地保護地区に指定されており、隣接する栗沢中央公園と一体となって市街地の緑の景観を形成しています。市街地内にある身近でかつ貴重な緑地であることから、今後も保全を図ります。

#### その他の都市施設

・こども園を整備するほか、市民交流文化施設の整備など、子育て支援やコミュニティ活動の活性化などに資する公共公益施設の整備に取り組みます。

#### 景観の形成

・栗沢地区は丘陵地の森林と平地部の田園地域に囲まれています。また、田園の地平線に夕日が沈む景色は美しい情景の一つであり、これらの景観要素の保全に取り組みます。  
・栗沢丘陵地にはカラマツやトドマツなどの人工針葉樹林があり、木材等生産林として間伐などの管理が行われていますが、緑の景観の形成、保全の観点からも森林の保全に取り組みます。



地域まちづくりの方針図

